

取扱説明書
品質保証書

次のものがそろっていますか？

万一、不足や破損等があるときは、すぐにお買い上げの販売店またはテルモ・コールセンター (☎0120-008-178) までご連絡ください。この体温計の販売名はテルモ電子体温計 W525 です。

- 本体
- 収納ケース
- リチウムボタン電池 (内蔵) CR2032 × 1
電池寿命…1日1回、周囲温度25℃、5分間のご使用で、約1年。
※ 付属の電池はお試し用のため、上記寿命より短いことがあります。使用頻度によっても電池寿命は変わります。
- 取扱説明書 / 品質保証書
- 添付文書/EMC 技術資料

※ 体温計や使用済みの電池を廃棄する際は、各自治体のルールに従って適切に廃棄してください。

品質保証書
このたびは、本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。品質には万全を期しておりますが、通常のご使用において万一故障が発生しましたときは、下記の保証規定により無償対応いたします。品質保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

販売名: **テルモ電子体温計 W525**

お名前: _____

ご住所: _____

TEL: _____

お買い上げ販売店名: _____ (印)

お買い上げ年月日: _____ 年 ____ 月 ____ 日

テルモ株式会社
東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目44番1号

ご使用の皆さまへ

ご購入の前に安全上のご注意をよくお読みの上、正しくお使いください。表示内容に従わず、本来の目的から逸脱した使いかたにより、万一、死亡や重傷を負ったり、物的損害が発生しても、弊社は一切責任を持ちませんので、あらかじめご了承ください。本書では、表示内容に従わず、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を次の区分で表示し、説明しています。

- 警告** 当該医療機器の使用範囲内において、特に危険を伴う注意すべき事項。
(適正に使用しても、死亡又は重傷を負う可能性が想定されるため、特に注意していただきたいことを示します。)
- 禁忌・禁止** 当該医療機器の設計限界又は不適正使用等、責任範囲を超える対象及び使用方法。
本製品の性能を超える、又は不適正な使いかたにより、死亡又は重傷を負う危険性があるため、絶対に行ってははいけません。
- 注意** 当該医療機器の使用にあたっての一般的な注意事項。
(誤って使うと、傷害を負う可能性、又は物的損害等の発生が予想される場合を示します。)
※ 物的損害とは、家屋、家財、及び家具、ペットに関する拡大損害を示します。

- 警告**
 - 電池や電池カバーは子供の手に届かない所に置いてください。
 - 子供だけで使わせないでください。
【本製品の先端部をかみ切って飲み込んだり、けがををする可能性があります。】

- 禁忌・禁止**
 - 引火性のある環境で使用しないでください。
【引火又は爆発の原因となる可能性があります。】

- 注意**

<使用上のご注意>

 - 人の体温測定以外に使用しないでください。
 - 口腔 (舌下) 用です。口腔 (舌下) 以外で検温しないでください。
 - 使用前に、外観に破損がないことを確認し、異常が認められた場合は使用しないでください。
 - 正しい方法で検温を行わなかった場合、予測精度が保証されない可能性があります。検温を始める前に、次の点に気を付けてください。
 - ・ 毎朝の基礎体温の検温は、寝ている状態のまま体を動かさず、なるべく同じ時間帯に検温してください。
 - ・ 検温中は本体を指で支え、会話や口での呼吸等で口を開けたり、体を動かしたりしないでください。
 - ・ くり返し検温するときは、少し時間を置くなど体温計の先端 (測温部) を冷ましてから検温してください。
 - 検温値を自動記録するため、必ず現在の日付・時刻と測定する時刻 (アラーム) を設定してください。(電池交換後は、再度設定してください。)
 - 検温結果の自己診断、治療は行わないでください。
 - 他の機器と併用するときは、影響の有無を確認してください。誤作動する場合には併用しないでください。
 - 本製品は、衝撃、振動、塵埃、噴霧、腐食性ガス等の発生する場所で使用しないでください。
 - 水中に放置したり、水道の蛇口に直接あてないでください。
 - 強くかまない、踏まない、落とさない、強いショックを与えない、曲げない、引っ張らないでください。
 - 分解、修理、改造は行わないでください。
 - 3週間以上の体温値と体調メモに基づき次回排卵・生理予定日の確認ができます。ただし、生理周期が不安定な場合や体温変動が大きい場合は表示されないことがあります。
 - 次回排卵日、次回生理日の計算機能はオグノ式に基づきますが、あくまで参考として使用してください。
 - 電池や電池カバーは、子供等がけがをしたり、飲み込まないように十分注意してください。
 - 病気の治療等で薬物を使用している場合は、正確な計算日を計算できないことがあります。

※ 添付文書及び取扱説明書に従わない使用がなされた場合及び勝手に何らかの修理、改造、分解、再調整がなされた場合について、製造販売元及び発売元は一切の責任を負うことができませんのでご注意ください。

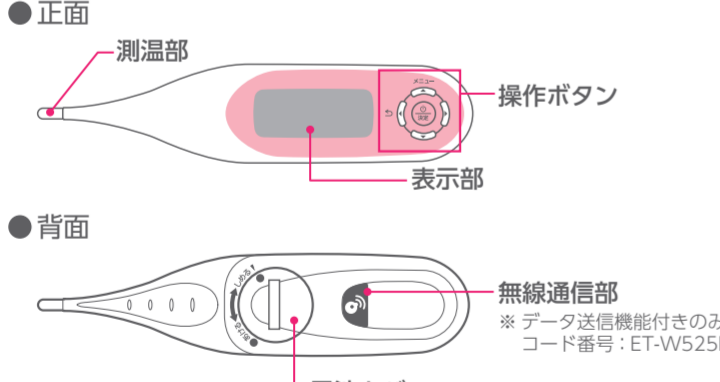
<貯蔵・保管上の注意>

日光や紫外線の強い光があたる場所に保管したり、湿度が多い場所、ホコリが多い場所、腐食性のガスが発生する場所に保管しないでください。体温計は、先端部を守る目的で、収納ケースに収めて保管してください。長期間使用しない場合、電池は取り外して保管してください。

<保守・清掃上のご注意>

 - 消毒液等に浸さないでください。
 - 超音波洗浄はしないでください。
 - 熱湯消毒 (50℃以上) はしないでください。

各部の名前



操作ボタンの使いかた

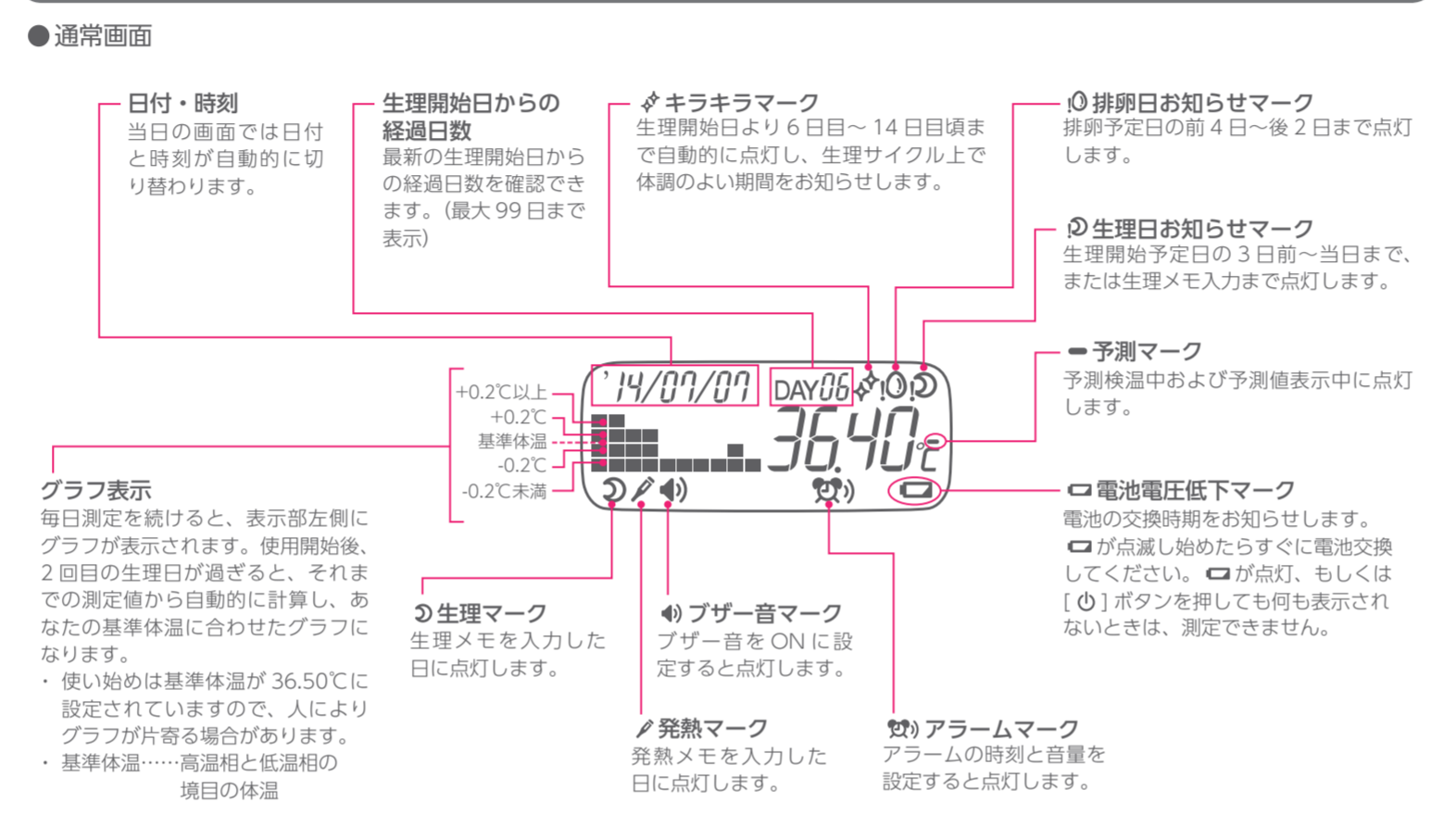
- 基本的な使いかた
 - ① (電源) / 決定ボタン
電源を入れるときは短く押します。電源を切るときは2秒以上押し続けます。また、各操作の決定に使用します。
 - メニューボタン
押すと、メニュー画面が表示されます。もう一度押すと通常画面に戻ります。
- 数値や音量設定時の使いかた
 - メニュー
数値や設定を変更します。
 - 決定
ひとつ前の設定に戻ります。
- 何も操作をしないと…
 - ・ 3分後に自動的に電源が切れます。
 - ・ 日付・時刻やアラームの設定の途中では、約1分で通常画面に戻ります。

この体温計の使いかた

この体温計は以下のフローに従って使用します。詳細は各項目の説明をお読みください。

- 初期設定をする**
日付・時刻の設定およびアラームの設定をします。
※間違った日付で設定すると記録された測定値や生理メモ・発熱メモが消去されます。ご注意ください。
- 測定する**
毎朝の基礎体温の測定は、なるべく同じ時間帯に寝ている状態のまま体を動かさず、舌下にて測定してください。
- 管理する**
 - 基礎体温リズムを確認できます。
 - 生理や発熱があった場合は、生理メモ・発熱メモを入力します。
 - 次回排卵日・次回生理日を確認できます。

画面表示について



メニュー画面

設定アイコン	説明
📅	生理メモ: 生理開始日に生理メモを入力します。
🔥	発熱メモ: 発熱の際に発熱メモを入力します。
🔊	ブザー音: 検温終了音の ON/OFF を設定します。
📅	次回排卵日表示: 次回排卵予定日を表示します。
📅	次回生理日表示: 次回生理予定日を表示します。
👉	手入力: 過去の体温値を手入力します。
🔔	アラーム: アラームの時刻や音量を変更します。
🕒	時計: 日付・時刻を変更します。

基礎体温ってなに？

基礎体温とは、体の動きがいちばん安静な状態にあるときの体温のこと。その条件をもっとも満たすのが「早朝、目を覚ましたときに、動かずにそのままの状態です」。これを基礎体温と呼びます。

基礎体温表をつけると、こんなことがわかります

健康な女性の基礎体温をグラフにすると、右のグラフのように、体温の低い時期 (低温相) と高い時期 (高温相) の二相曲線を描くことがわかります。このパターンは月経や排卵日など女性の性周期に従ってくり返されており、この動きを継続的に記録することで、排卵の有無を予想したり体調を把握することができ、妊娠を予想することも可能です。



1 初期設定をする

初めてご使用いただく際や電池交換後は、**日付・時刻**の設定および**アラーム時刻** (測定する時刻) と**アラーム音量**を設定してください。正確な基礎体温の管理をするためには、日付・時刻、アラーム時刻と音量の設定が必要です。決定前に、電源 OFF やオートパワーオフした場合は、途中の設定が無効になります。

- 日付・時刻を設定する**
 - ① [①] ボタンを押して電源を入れる
 - ② 「日付」を設定する
[▲] ボタンで日付を進め、[▼] ボタンで日付を戻す。
[決定] ボタンを押して、決定します。
 - ③ 「時」を設定する
[▲] [▼] ボタンで数値を調整し、[決定] ボタンを押します。
※ [◀] ボタンを押すと、ひとつ前の設定に戻ります。以降の設定でもこの手順を繰り返して操作します。
 - ④ 「分」を設定する
③の手順で設定します。
 - ⑤ 設定した日付・時刻が交互に点滅するので、設定が正しければ [決定] ボタンを押す
日付・時刻設定完了後、[決定] が点灯し、続けてアラーム時刻の設定画面になります。(右上に続きます。)
- アラームの時刻と音量を設定する**
 - ⑥ アラーム時刻の「時」を設定する
⑤の手順で設定します。
※ 出荷時は「6:00」に設定されています。
[◀] ボタンを押しても日付・時刻の設定には戻りません。
 - ⑦ アラーム時刻の「分」を設定する
⑤の手順で設定します。
アラーム時刻の設定完了後、[決定] が点灯し、アラームの音量設定画面になります。
 - ⑧ アラームの「音量」を設定する
[▲] [▼] ボタンで音量を調整し、[決定] ボタンを押します。
※ 出荷時は「2 (音量: 大)」に設定されています。

2 基礎体温を測定する

体温を正確に測定するため、次のことをお守りください。

- おやすみになる前に、この体温計を枕元にご用意ください。
- 目が覚めたら、起きあがらずに、そのまま布団の中 (安静な状態) で測定してください。
- 測定の前に、飲食はしないでください。
- 正確な基礎体温曲線を見るため、毎朝の検温は、なるべく一定の時刻に行ってください。
- 検温は、いつも同じ方法で行い、測温部を舌下 (舌の裏側) にあてる位置は、いつも同じところに正しくあてるようにしてください。舌下 (舌の裏側) のいちばん奥にある舌小帯 (中央のすじ) の両側が正しい検温位置です。
- くり返し検温すると、測定値が高くなる場合があります。少し時間をおくなど、体温計の先端 (測温部) を冷ましてから検温してください。
- 数値を読み取るときや設定中には、体温計の測温部に触れないでください。測定を開始することがあります。
- 体温計を取り出してから表示値が変化した場合は、測算が終了するまで若干の時間がかかっていますので、変化後の (固定した) 値を読み取るようにしてください。

体温を測る

- こんな場合、設定したアラーム時刻になってもその日のアラーム音は鳴りません
 - ・ アラーム音量を OFF に設定した場合
 - ・ アラーム時刻の 2 時間前からアラーム時刻までの間で測定をすでに終了している場合
 - ・ 測定を終了した後に、アラーム時刻を新しく設定した場合

- アラーム音が鳴ったら [①] ボタンを押す**
設定したアラーム時刻になるとアラーム音とバックライトでお知らせします。電源を入れるとアラーム音は止まります。アラームを止めないと 5 分間隔で 4 回までお知らせします。
- 体温計の測温部を舌下中央にあるすじの横にあて、舌を下げ、口を軽く閉じて待つ**
測定中は、左から右にバーが伸びます。
予測マークのバーが点灯します。
※ 実測検温に切り替わると、予測マークは消えます。

- **ポイント** 体温計をあてる場所
舌下 (舌の裏側) 中央にあるすじ
● 中央のすじの横 (左右のどちらでも良い)
● 根本とのいちばん奥
- 測温部が動かないように、体温計を指で支えてください。
- 測定中は口を開けず、鼻で呼吸してください。(会話も避けてください。)

- 検温終了音が鳴り検温終了をお知らせ**
1 回目の検温終了音で予測検温が終了します。アラーム時刻の前後 2 時間以内に測定した値は自動記録されます。(480 日分記録)
- アラーム設定時刻の前後 2 時間以外に測定した値は自動記録されません。ただし、手入力モードで測定データを保存できます。**
アラーム設定時刻が 7:00 の場合
自動記録される時間
アラーム時刻
自動記録されない時間
- 検温終了後、電源を切った場合、またオートパワーオフ機能により電源が切れた場合でも、測定値は自動記録されます。**
● 検温終了後、3 分以内に再び測定を始めた場合は、最新の測定値を自動記録します。

「ピピッ、ピピッ、ピピッ」と鳴ったら！
検温エラー音です。測定をやり直してください。エラーの場合は、自動記録されません。

実測検温する場合
1 回目の検温終了音で予測検温が終了します。そのまま体温計をくわえ続けると実測検温に切り替わり、2 回目の検温終了音で実測検温が終了します。

- [①] ボタンを長く (2 秒以上) 押して、電源を切る**

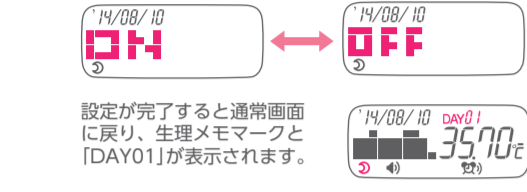
3 管理する

生理メモを入力する

1 [◀▶]ボタンで入力する日付を選択する

2 [▲]ボタンを押し、[◀▶]ボタンで を選択し、[決定]ボタンを押す

3 [▲][▼]ボタンで ON/OFF を切り替えて選択し、[決定]ボタンを押す

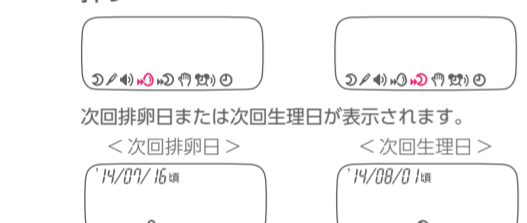


設定が完了すると通常画面に戻り、生理メモマークと「DAY01」が表示されます。

次回排卵日や次回生理日を確認する

- 3 周期以上の体温値と体調メモに基づき次回排卵・生理予定日の確認ができます。ただし、生理周期が不安定な場合・体温変動が大きい場合は表示されない場合があります。
- 計算機能により表示される日付は、生理周期などを統計処理した上、オグノ式を参考に計算するもので、あくまでも目安です。
- 病気の治療などで薬物を使用している場合は、正確な日付を計算できないことがあります。
- 確定診断は必ず医師にご相談ください。

1 [▲]ボタンを押し、[◀▶]ボタンで (次回排卵日表示) または (次回生理日表示) を選択し、[決定]ボタンを押す



2 [決定]ボタンを押す
通常画面に戻ります。

発熱メモを入力する

1 [◀▶]ボタンで入力する日付を選択する

2 [▲]ボタンを押し、[◀▶]ボタンで を選択し、[決定]ボタンを押す

3 [▲][▼]ボタンで ON/OFF を切り替えて選択し、[決定]ボタンを押す



設定が完了すると通常画面に戻り、発熱メモマークが表示されます。

ポイント

- 生理開始日からの経過日数について
生理メモを入力した日を「DAY01」と表示し、次の月経までの日付をカウントします。次の月経開始日を生理メモで入力すると新たに「DAY01」と表示します。
※ 最大 99 日までカウントできます。
※ 14 日以内に次回生理メモを入力した場合は、生理開始日に設定できません。前回入力した生理開始日から引き続きカウントされます。

● 4 周期以上の体温値と体調メモに基づき次回排卵・生理予定日の確認ができます。ただし、生理周期が不安定な場合・体温変動が大きい場合は表示されない場合があります。

● 計算機能により表示される日付は、生理周期などを統計処理した上、オグノ式を参考に計算するもので、あくまでも目安です。

● 病気の治療などで薬物を使用している場合は、正確な日付を計算できないことがあります。

● 確定診断は必ず医師にご相談ください。

設定を変更する

アラームの時刻と音量を変更する

設定したアラーム時刻の前後 2 時間以内に測定した値だけが自動記録されます。

- 1 [▲]ボタンを押し、[◀▶]ボタンで を選択し、[決定]ボタンを押す
- 2 「初期設定をする」手順①～③の操作を行い、アラームの時刻と音量を設定する

アラームを設定したくない場合は、測定時刻をお知らせするアラームを使用しない場合は、アラーム音量を OFF にしてください。この場合 は表示されません。

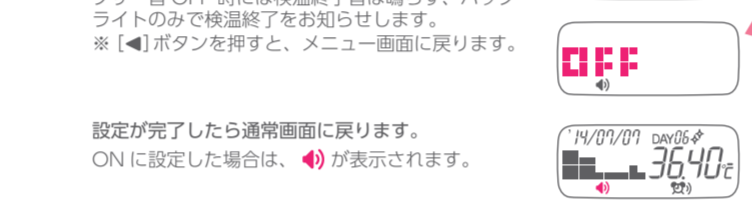
ブザー音の ON/OFF を変更する

ブザー音 (検温終了音・電源 ON/OFF 音) の ON/OFF を変更することができます。

- 検温エラー音は、OFF にできません。

1 [▲]ボタンを押し、[◀▶]ボタンで を選択し、[決定]ボタンを押す

2 [▲][▼]ボタンで ON/OFF を切り替えて選択し、[決定]ボタンを押す



設定が完了したら通常画面に戻ります。ON に設定した場合は、 が表示されます。

日付・時刻を変更する

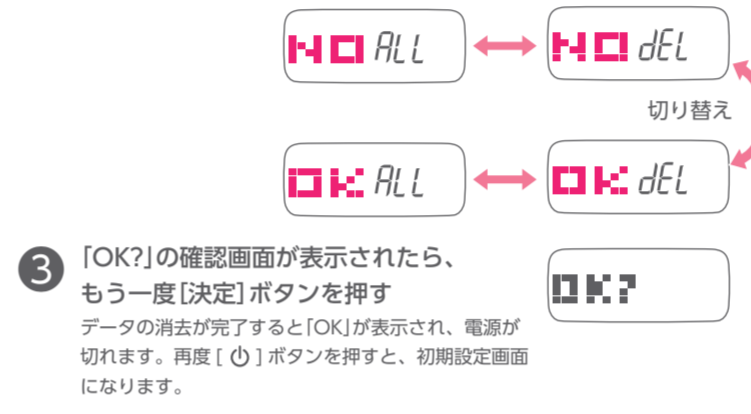
- 間違った日付 (1 年前や 1 年後の日付) で設定すると、記録された測定値や生理メモ・発熱メモが消去されます。

1 [▲]ボタンを押し、[◀▶]ボタンで を選択し、[決定]ボタンを押す

2 「初期設定をする」手順①～③の操作を行い、日付・時刻を設定する

データをすべて消去する

- 1 電源を OFF にして、[▲][▼]ボタンを同時に押しながら、[0]ボタンを押す
- 2 [▲][▼]ボタンで「OK/NO」を切り替えて選択し、[決定]ボタンを押す
- 3 「OK?」の確認画面が表示されたら、もう一度 [決定]ボタンを押す



データの消去が完了すると「OK」が表示され、電源が切れます。再度 [0]ボタンを押すと、初期設定画面になります。

過去の測定値を確認する

1 [◀▶]ボタンで確認したい日付を選択する



体温値を手入力する

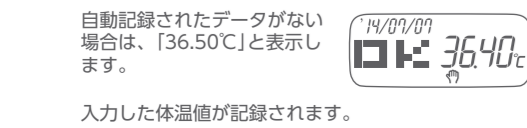
アラーム設定時刻の前後 2 時間以外に測定した場合は、手入力モードでデータを保存できます。手入力モードで本体に記録させていただきます。

- お使いになり始めた日より以前の日付は入力できません。
- 電池切れから電池交換まで 9 日以上空いてしまうと、その期間の表示・入力はできません。

1 [◀▶]ボタンで手入力する日付を選択する

2 [▲]ボタンを押し、[◀▶]ボタンで を選択し、[決定]ボタンを押す

3 体温表示が点滅したら [▲][▼]ボタンで体温表示を変更し、[決定]ボタンを押す



入力した体温値が記録されます。

体温値を消去する

1 [◀▶]ボタンで消去する日付を選択する

2 [▲]ボタンを押し、[◀▶]ボタンで を選択し、[決定]ボタンを押す

3 体温値が表示されたら、[▶]を押す

4 [決定]ボタンを押す
体温値が消去されます。

お手入れ・保管について

電池の寿命と交換について

電池寿命・1 日 1 回、周囲温度 25℃、5 分間のご使用で、約 1 年。
※ 付属の電池はお試し用のため、上記寿命より短いことがあります。使用頻度によっても電池寿命は変わります。

- 1 コインなどを電池カバーの溝に入れ、反時計回り (約 100°) に回す
電池カバーが上がってきますので、手で取り外ししてください。
- 2 古い電池を取り外し、新しい電池の ⊕ 側を上にして電池 (CR2032) をセットする
- 3 電池カバーの [●]印と本体側の [●]印を合わせて、電池カバーを上から押しながら、コインなどで時計回りに「しめる」表示位置まで回す

- 電池および電池カバーは、子供などがけがをしたり、飲み込まないように十分注意してください。
- 電池は CR2032 です。なお、内蔵の電池はお試し用 (機能確認用) ですので、電池寿命が短い場合があります。
- 長時間使用しない場合は、電池は取り出して保管してください。
- 電池の使い方を誤ると、電池が漏液、発熱、破裂したり、けがや本体の故障の原因となるおそれがあります。
- 電池を交換したら、日付と時刻の設定を必ずやり直してください。
- 日付と時刻を設定し直さないで、体温の自動記録ができます。 (記録された測定値、生理メモ・発熱メモは電池を交換しても消去されません。)
- 現在の日時を設定するときは、電池を交換する日よりも前の日付で設定すると、記録された測定値や生理メモ・発熱メモが消去されます。
- 電池交換時には、ボタンを押さないようにご注意ください。データが消える可能性があります。

※ 体温計や使用済みの電池を廃棄する際は、各自治体のルールに従って適切に廃棄してください。

体温計は清潔に使いましょう

毎日、口中で使うものなので水洗いし、いつも清潔にしてください。

- 本体と収納ケースを洗う際は、水で洗ってください。水洗いする場合は、洗面器等に溜めた水にボタンを押さないように体温計を浸し、取り出してから汚れをふき取るようにしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を含ませた布で汚れを落とす後、洗剤をよくふき取ってください。消毒する場合は、表示部を除く本体を消毒用アルコール綿で清拭して自然乾燥させてください。
- 消毒液等に浸さないでください。
- 超音波洗浄はしないでください。
- 熱湯消毒 (50℃以上) はしないでください。



データ送信機能について

データの送信方法

パソコン等とデータ通信をすることにより、測定値データを転送することができます。
※ データ通信を行うには別途専用ソフトをインストールする必要があります。データ通信が可能なサービスについては Web サイトを参照してください。

パソコンへデータを送信するためには、下記のいずれかの通信環境をご用意ください。



- 1 体温計の電源を入れる
体温計の初期設定をしないと通信できません。
- 2 NFC リーダー / ライターに体温計の背面の マークをタッチする
データ通信後、体温計表示部に「End」が表示されます。体温計の電源が自動的に切れます。データの送信後は、NFC リーダー / ライターの通信エリアから離してください。通信エリア内ではオートパワーオフ機能が働きます。

※ データ送信機能は ET-W525DZ (本体背面に マークがある商品) のみ使用できます。

故障かな?と思ったら

こんなとき	原因	対処方法
アラーム時刻にアラーム音が鳴らない	アラーム時刻が正しく設定されていない。 現在の日付・時刻が正しく設定されていない。 アラーム音が鳴る前にその日の測定を終了した。 測定を終了した後に、アラーム時刻を変更した。 アラーム音量の設定が適切でない。	アラーム時刻の設定をやり直してください。 現在の日付・時刻の設定をやり直してください。 このような場合、その日にはアラーム音が鳴りません。 このような場合、その日にはアラーム音が鳴りません。 アラームの音量設定 (2・1・OFF) を再確認してください。
ブザー音が止まらない	静電気を外し、2 分以上経過してから入れ直してください。	一度電池を外し、2 分以上経過してから入れ直してください。
測定したのに記録されていない 検温終了したら体温値が消えた	現在の日付・時刻が正しく設定されていない。 自動記録される時間帯に測定していない。	現在の日付・時刻の設定をやり直してください。 正しい測定のために、設定したアラーム時刻に測定してください。 (設定した時刻の前後 2 時間以内に測定した測定値しか記録されません。ただし手入力モードで測定値を保存できます。記録するには、メニューより手入力アイコンを選択し、記録します。詳細は「体温値を手入力する」をご確認ください。)
「-.-」の表示から変わらない	体温計の測温部の温度が高いため、測定が開始されない。	少し時間をおくなどして体温計の先端 (測温部) を冷ましてから再度測定してください。
過去の測定値を見ることができない	測定中または他の操作モードに入っている。	測定または他の操作を終了し、最初からやり直してください。
電池を交換したら、交換した日より前の測定値が消えてしまった 次回排卵日、次回生理日を表示しない	電池交換後などで、現在の日付・時刻の設定を間違えてしまった。 3 週間分の測定値が記録されていない。 体温を測定していない日が多い。	現在の日付・時刻とアラーム時刻の設定をやり直してください。 (失われた測定値を元に戻すことはできません。) 3 週間分の測定値が記録されてから操作してください。
体温を測定していない日が多い。	測定した日の測定値が記録されていない。 (現在の日付・時刻やアラーム時刻の設定が間違っている。)	なるべく毎朝測るようしてください。
生理メモ・発熱メモの入力ができない・入力されていない	測定中または他の操作モードに入っている。 生理メモ・発熱メモの入力方法を間違えてしまった。 ([決定] ボタンを押していないなど。) 予測演算の途中のため。 (正常な動作です。)	測定または他の操作を終了し、最初から操作してください。 設定が正しいかどうか、ご確認ください。 (電池交換後は必ず設定をやり直してください。) 最近の生理日に生理メモを入力してください。 生理周期が不規則、または体温の変動が大きい。 病気の治療などで薬物を使用している。 計算していた日 (当日) を過ぎてしまった。 測定中または他の操作モードに入っている。
いったん高めに表示され、下がってから検温終了音が鳴る	測温部が舌下 (舌の裏側) の正しい位置にあたっていない。 測温部の温度が高い。 口中が冷えている。	「基礎体温を測定する」をご覧ください。正しい部位で測定してください。 暖房があたるところでの使用は避け、測温部を冷ましてから再度測定してください。 口をしばらく閉じてから測ってください。
「Er.1」が表示される	1 回目の検温終了音が鳴る前に、測温部のあたる位置が大きすぎた。	測定中は測温部を動かさないようにしてください。
「Er.3」が表示される	センサー回路の断線などで計測回路に異常がある。	一度電池を外し、2 分以上経過してから入れ直してください。「Er.3」が再度表示された場合は、テルモ・コールセンターにご相談ください。
「Er.4」が表示される (データ送信タイプのみ)	通信に関するエラー。	一度電源ボタンを押して電源を切り、再度操作してください。その際、体温計の通信マークが、NFC リーダー / ライターの通信部と向き合っているか確認してください。
「Er.5」が表示される	体温計内部エラー。	一度電池を外し、2 分以上経過してから入れ直してください。「Er.5」が再度表示された場合は、テルモ・コールセンターにご相談ください。
「0」が表示される	測定値が 42℃ を超えている。	いったん測温部を冷ましてから再度測定してください。
「Hi」が表示される	使用可能な周囲温度の上限を超えている。	使用可能な周囲温度の環境下でご使用ください。
「Lo」が表示される	使用可能な周囲温度の下限を超えている。	使用可能な周囲温度の環境下でご使用ください。
1 回目の検温終了音が鳴らない	ブザー音が OFF に設定されている。	ブザー音を ON に設定してください。
2 回目の検温終了音が鳴らない	1 回目の検温終了音が鳴った後、測温部のあたる位置が大きすぎた。 ブザー音が OFF に設定されている。	測定中は測温部を動かさないようにしてください。 ブザー音を ON に設定してください。
口中から取り出したときに表示が消えた	測定中に [0] ボタンを押して電源が切れた。	電源を入れ直して再度検温してください。
[0] ボタンを押しても何も表示されない	電池の入れかたが間違っている。 電池が消耗している。	電池を正しく入れてください。 新品のリチウムボタン電池 (CR2032) と交換してください。
電池マークが点滅または点灯する	電池が消耗している。	新品のリチウムボタン電池 (CR2032) と交換してください。

仕様

販売名	テルモ電子体温計 W525	分類	内部電源機器・ (BF 形装飾部)・IPX7 *
型式	W525	使用条件	周囲温度 10 ~ 40℃、相対湿度 30 ~ 85%RH (ただし、結露なきこと)
測定方式	予測式 (予測検温・実測検温兼用)	保管条件	周囲温度 -20 ~ 60℃、相対湿度 95%RH 以下 (ただし、結露なきこと)
温度検出	サーミスタ	外観寸法	約 長さ 133mm x 幅 31mm x 厚さ 19mm
検温部位	口腔 (舌下)	質量	約 30g (電池含む)
測定範囲	32.00 ~ 42.00℃	付属品	収納ケース、リチウムボタン電池 (CR2032) 1 個 (内蔵)、取扱説明書 / 品質保証書、添付文書 / EMC 技術資料
検温時間	予測検温時間: 約 20 秒 (ブザー音で告知) 約 2 分 30 秒後実測表示に自動切替 実測検温時間: 約 5 分 (ブザー音で告知)	消費電力	約 4.0mW
記録容量	480 日分		
最大許容誤差 (温度精度)	恒温水槽で実測測定した場合 ± 0.05℃ (35.00℃ ~ 38.00℃ の範囲) ± 0.10℃ (上記以外の測定範囲)		
防湿形	JIS T 1140 : 2014 の規定による		
表示方式	液晶表示素子による体温値 4 桁デジタル表示		
電源電圧	DC3V (リチウムボタン電池 (CR2032) 1 個 (交換可))		

ご相談・お問い合わせ先

この製品に関するご相談やお問い合わせは、販売名をご確認の上、お買い上げの販売店または「テルモ・コールセンター」にご連絡ください。

TEL ホームページアドレス
<http://www.terumo.co.jp/>

TELモ・コールセンター
☎ 0120-008-178
(9:00~17:00 土日・祝日を除く)

さらに詳しい情報は
女性の健康情報サイト
「テルモ」基礎体温で
カラダと話す
terumo-womens-health.jp
※ 詳細は各店舗の Web サイトをご覧ください。

製造販売元: シズケン・システムズ株式会社 東京都西東京市田無町 6-1-12
発売元: テルモ株式会社 東京都渋谷区幡ヶ谷 2 丁目 44 番 1 号
管理医療機器 一般名称: 電子体温計 販売名: テルモ電子体温計 W525
医療機器認証番号 226ADBZX00142000
記載されている会社名、各種名称は、テルモ株式会社および各社の商標または登録商標です。